

令和元年度 自主学習グループ開設一覧表

市民自らが学習テーマを設定し、継続的な集団学習・実践を積み重ねることで、普段の生活や地域を良くする人づくり・活動づくりのために教育委員会が開設しています。自然や環境問題、人権・他者理解、郷土、しつけやしきたり、国際理解などテーマ別に深く学んでいます。

番号	名 称	学習テーマ	開設場所	代表者名	在籍者数 (保育児数)
1	み ち	みちを通して郷土を知る	八 木 地 区 公 民 館	中嶋 正治	14
2	子どもにやさしいまち づくりの会	子どもの権利を尊重したま ちづくりとは	市 立 公 民 館	長谷川 秀美	10

(計) 在籍者数：24 名 保育児数：0 名

テーマ 道を通して郷土を知る

みち

自主学習グループ

代表者：中嶋 正治

学習場所：八木地区公民館

学習時間：13:30～16:00

在籍者数 14 人 保育児数 0 人

回	月／日 (曜)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	講師・助言者 (敬称略)	参加者数 (一般)
1	4／5 (金)	開講式 久米田寺 (現地学習)	○オリエンテーション ○久米田寺周辺 キッチンジーで食事	グループ生	9
2	5／17 (金)	熊野古道 (現地学習)	○箕土路～額町 八木地区の熊野古道を歩く	グループ生	6
3	6／22 (土)	公開講座 岸和田煉瓦から知 る明治 150 年	○幕末から明治にかけて、日本に 伝わった煉瓦の歴史	郷土文化課 山岡 邦章	12 (51)
4	7／5 (金)	山直上村 (現地学習)	○積川神社～大嶋邸ビャクシン 牛滝街道の旧住還を歩く	グループ生	7
5	7／19 (金)	流木をあつめて	○流木をあつめての著者が解説	公民館講師 万代 博史	12 (5)
6	9／21 (土)	公開講座 考古学からみた気 候変動と災害痕跡	○考古学調査や歴史の話から気候 不順や地震、津波など最新の考 古学研究を検討	大阪府立狭山池博物館 学芸員 西川 寿勝	11 (50)
7	10／4 (金)	公民館まつりの 展示作品づくり	○「みち」の学習活動を展示作品 にする	グループ生	7
8	10／18 (金)	公民館まつりの 展示作品づくり	○「みち」の学習活動を展示作品 にする	グループ生	13
9	11／10 (日)	現地学習	○赤煉瓦ネットワーク 赤レンガの探訪	郷土文化課 山岡 邦章	9
10	11／30 (土)	公開講座 熊野の王子を考える	○熊野参詣路に配された王子社つ いて、その信仰の原型	アルキニスト 月山 渉	11 (79)
11	1／17 (金)	熊沢友雄を読む	○明治時代 熊沢友雄日記（第 1）を終了す る	郷土史研究家 江間 一夫	11
12	2／7 (金)	文集づくり	○1 年間の学習のまとめを文集に する	グループ生	9
13	2／21 (金)	文集づくり	○1 年間の学習のまとめを文集に する	グループ生	11
14	3／27 (金)	閉講式	○学習活動の総括 ○来期に向けて	グループ生	13

【合計】 141 ・ (185)

～学びを実践に～

◇ プロフィール

公開講座『紀州街道 あ・ら・かると』に参加し、自主学習グループづくりに賛同した仲間と、平成14年4月に自主学習グループ「みち」がスタートし、18年目になりました。

「みち」の目的の一つ「学びを多くの人に広げたい」とする公開講座を開催しました。

「みちを通して郷土を知る」を課題に、他市での現地学習では岸和田市の課題を考え、学びを実践にし、まちづくりに活かすことを目標に学習活動を続けています。

◇ あしあと

(1) 現地学習

「開講式・久米田寺周辺を歩く」では、今年の桜は遅咲きで、少し残念でしたが、久米田池の土手の桜が、池主を慰撫するために植えられたとは今の時代は思いもしませんが、昭和60年代の人はそう言って植えたとのこと。熊野古道の箕土路から額町では、身近な場所に関わらず歩く機会はあまりありません。古い道筋が残ってはいるが、時代の変化が見えてきて少し惜しい気もしました。「山直上村を歩く」は、積川神社の神主さんに神輿など説明していただき、旧道なるべく歩きました。静かな旧道に昔の山の神や地蔵が残っており、それらに願いを込めていた人々の生活を偲びながらの行程でした。赤煉瓦ネットワークの「レンガを求めて歩き」に参加しましたが、参加者の多さにビックリ、貝塚市の旧寺田紡績工場の中へ入れました。

(2) 公開講座

今期は、公開講座を三回開催しました。郷土文化課山岡邦章氏の「岸和田レンガの歴史」は聴講された皆様が、岸和田市のこういう話は聴いていないと好評でした。狭山池博物館の西川寿勝先生の「考古学からみた気候変動と災害痕跡」は、普通あまり気にしない物から、気候変動の周期を研究している人がおられることに驚かされました。アルキニストの月山渉先生の「熊野の王子を考える」では、普段思ってもいない王子とは、淡路とはと、先生の広く深い知識に感心しました。

(3) 学習

郷土文化課山岡邦章氏の「幕末から明治にかけて、日本に伝わった煉瓦の歴史」は、日頃は岸和田レンガがあったと知るだけで思ってもいない内容で、広範囲な調査の結果とはこんなに内容が深いのかと知りました。万代博史氏の流木町称名寺の住職「出口神暁」の実績をまとめた「流木をあつめて」のお話は、鬼洞文庫があったのは知ってても、実際は知らないし、読んだこともありませんが、実地に関わった万代氏の話は思わず身を乗り出して聞き入りました。郷土史研究家江間一夫氏の「熊沢友雄日記を読む」では、明治3年を学びました。

変わっていく岸和田の様子や、外国企業の進出など江戸での藩邸の激変する様などが日記に書いて残した熊沢日記を良く知りえて良い学びでした。

◇ 反省と来期への取り組み

公民館の使用規定の変更があり公民館活動団体となりますが、今一度初心にかえって、学習グループ「みち」として「みちを通して郷土を知る」を目標に活動を続けていきたいと思えます。

学習グループ「みち」運営委員会

テーマ 子どもの権利を尊重したまちづくりとは
子どもにやさしいまちづくりの会 自主学習グループ 代表者：長谷川秀美

学習場所：市立公民館 学習時間：10:00～12:00 在籍者数 10 人 保育児数 0 人

回	月／日 (曜)	学習テーマ	学 習 内 容	講師・助言者 (敬称略)	参加者数 (一般) 〈保育児数〉 《一般》
1	5／7 (火)	子どもの権利と 子どもの現状	○自己紹介 ○岸和田の子ども状況について出 しあう	グループ生	5
2	6／4 (火)	子どもの権利と 子どもの現状	○岸和田の子ども状況について問 題に思う点を話しあう	グループ生	5
3	7／2 (火)	子どもの権利と 子どもの現状	○見えてきた子どもの姿 ○公民館まつりについて	グループ生	5
4	8／6 (火)	子どもの権利と 子どもの現状	○公民館まつりの概要と取組のアイ デアを出しあう	グループ生	4
5	9／3 (火)	子どもの権利と 子どもの現状	○校則の問題、養護施設の子どもの 権利について ○公民館まつりの具体的な内容検討	グループ生	4
6	10／1 (火)	子どもの権利条 約の内容	○公民館まつりの展示内容を検討	グループ生	4
7	11／5 (火)	子どもの権利条 約	○公民館まつりの展示の作成 (場所：ここからK i t)	グループ生	5
8	12／3 (火)		(参加できる人が少なく中止)		—
9	1／7 (火)	子どもの権利と 自治体の施策	○明石市の子ども施策について学ぶ ○「子どもの権利すごろく」体験	グループ生	2
10	2／4 (火)	子どもの居場所 体罰	○来年度の取組と登録について ○子どもの居場所、学び場について ○子どもへの体罰について	グループ生	3
11	3／3 (火)		新型コロナウイルス感染症拡大防止 のため中止		—

【合計】 37

～子どもにやさしいまちとは 子どもの権利から考える～

◇プロフィール

私たちの会は、日ごろから子ども支援や子育て支援に関わる活動をしていく中で、「子どもの権利についてもっと知りたい」、「岸和田を『子どもたちにやさしいまち』（子どもの権利や子どもの声が生かされるまち）にするには、何が必要だろうか、一緒に考えたい」ということで集まりました。

まずは学習会をしていこう、将来的には学習したことを広く市民の皆さんに知ってもらおう活動もしたい、と考えています。

そこで月に1回集まって、岸和田の子どもたちの置かれている状況を情報交換し合ったり、何が問題なのか話し合ったりし、国連で採択されてから30年、日本の批准から25年の「子どもの権利条約」も学習していこうと考えています。

◇あしあと

＊2019年の5月から毎月第1火曜日に例会を持ち、次のようなことをしてきました。

- ・岸和田の子どもを取り巻く状況を情報交換。
- ・「子どもの権利条約」についての学習。特に校則と子どもの権利についてや体罰について、児童養護施設の子どもの権利についてなど話し合いました。
- ・他の自治体の子ども施策について学ぶ。

＊初めて「公民館まつり」に参加

どんな展示にしたらわかりやすいか、「子どもの権利」についてわかりやすく市民に伝えるにはどうするか等いろいろ話し合っ、子ども食堂にきている子どもたちの協力ももらい、模造紙に「子どもの権利条約」や私たちの会についてアピールするものを手作りしました。

◇反省と来期への取り組み

公民館まつりで50人ほどの人に「子どもの権利条約」について知っているか、聞きましたが、ほとんどの人が「知らない」という答えでした。まだまだ市民の中に知られていないのだなあと感じました。今後もっと啓発していくにはどうしたらいいか、考えたいと思います。

自主学習グループ

「子どもにやさしいまちづくりの会」